

授業科目名	生 物			担当教員	齋藤 吉紀	
開講年次	1 年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	高校までの生物をもとに、人の生命を維持する機能の基礎知識を理解する。					
到達目標	1. 細胞の構造・化学成分・細胞膜の輸送について理解できる 2. ATP とその生合成の過程・同化作用・異化作用について理解できる。 3. 個体の調整（神経・ホルモン・内分泌腺）について理解できる 4. 遺伝の仕組みについて理解できる。					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	1 回 細胞の構造と機能 (1) 生命の化学、細胞の構造	講義	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 プリント内容確認 復習問題等確認 	1.5 時間	齋藤	
2	2 回 細胞の構造と機能 (2) 細胞膜の輸送 講義	講義	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 プリント内容確認 復習問題等確認 	1.5 時間	齋藤	
3	3 回 生体内のエネルギー (1) ATP とは何か	講義	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 プリント内容確認 復習問題等確認 	1.5 時間	齋藤	
4	4 回 生体内のエネルギー (2) 同化作用と異化作用	講義	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 プリント内容確認 復習問題等確認 	1.5 時間	齋藤	
5	5 回 個体の調節 (1) 自律神経による調節	講義	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 プリント内容確認 復習問題等確認 	1.5 時間	齋藤	
6	6 回 個体の調節 (2) ホルモン・内分泌による調節	講義	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 プリント内容確認 復習問題等確認 	1.5 時間	齋藤	
7	7 回 遺伝の仕組み (1) メンデル遺伝・色々な遺伝	講義	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 プリント内容確認 復習問題等確認 	1.5 時間	齋藤	
8	8 回 遺伝の仕組み (2) 遺伝子の本体について	講義	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 プリント内容確認 復習問題等確認 	1.5 時間	齋藤	

先行履修科目					
テキスト	時政孝行：看護に必要な やりなおし生物・化学. 照林社, 2013.				
参考文献	大森徹：大森徹の最強講義 117 講 生物 I・II 新課程増補版 (シグマベスト). 文英堂, 2014. 浅島誠 他：生物. 東京書籍, 2012 Neil A.Campbell 池内昌彦 他 (監訳)：キャンベル生物学. 丸善, 2013				
科目の位置づけ	基礎医学や看護学を学修していく上で必要な生物を学ぶ科目であり、人間の理解のための思考や主体的な学習の力を培う。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		◎		○	
評価方法	定期試験85%・課題のレポート10%・授業参加度5%				